

鮫浦湾ホヤ幼生調査報告（第4報）

実施主体 宮城県漁業協同組合谷川支所養殖組合
 協力機関 東北大学マリンサイエンス復興支援室
 宮城県東部地方振興事務所水産漁港部
 宮城県水産技術総合センター

◆ホヤ幼生の出現状況調査内容

日 時：12月15日 10:30~13:10（検鏡 12:00~13:10）

天 候：晴れ

調査員：谷川支所養殖組合（石森明浩，阿部智司，渥美建）

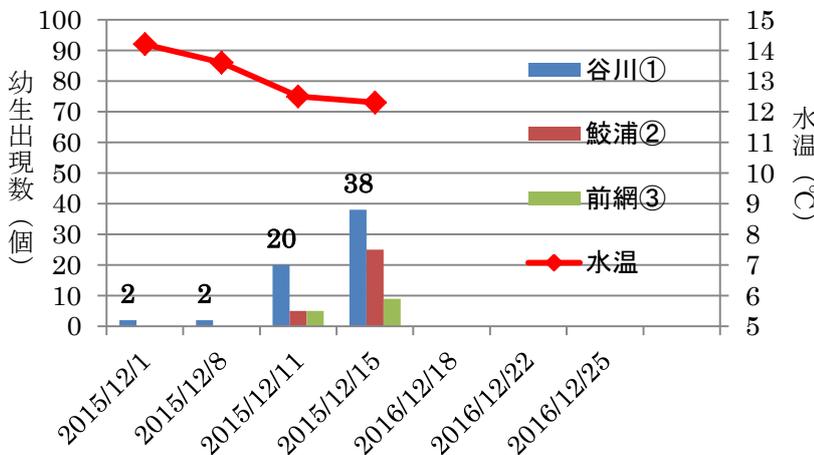
【概況】

1. 鮫浦湾の表面水温は全調査点とも12℃台でした。
2. マボヤ幼生の出現状況は、幼生・胚合わせて9~38個と、前回に比べて増加しました。
3. また、ユウレイボヤと思われる幼生が4~6個見られました。

調査点	表面水温 (℃)	ネット曳網距離 (m)	胚(孵化前)・浮遊幼生数(個)			(備考欄)
			胚(孵化前)	浮遊幼生	合計	
1 谷川	12.3	20	25	13	38	その他ホヤ幼生6
2 鮫浦	12.3	13	7	18	25	その他ホヤ幼生6
3 前網	12.3	16	7	2	9	その他ホヤ幼生4

※プランクトンネットは鉛直曳き2回

◆ホヤ浮遊幼生出現数推移



① 調査風景（ネット曳網中）



② 検鏡風景



③ マボヤとユウレイボヤ幼生
→マボヤのほうが大きいです。



◆ホヤ浮遊幼生出現状況について



【 個 】：胚とオタマジャクシ型幼生の合計数